

2冊の本の「説明」、著者プロフィール、目次紹介ですが、最初に「第二の地球が見つかる日」次に「新説 宇宙生命学」の順です。2021. 1. 28 佐々木 敏昭



第二の地球が見つかる日ー太陽系外惑星への挑戦ー

渡部潤一(著/文)

出版社内容情報

太陽系外惑星 K218b に、生命体は存在するのか。第二の地球であるための条件、そして、惑星探査で明らかになっている新事実。最先端の情報をもとにして、今、最も注目を集めている天の川銀河の赤色矮星を中心に、宇宙の広がりわかりやすく解説。891 円

宇宙研究は、「第二の地球」発見の時代へー。アインシュタインが予言した重力波の検出、ブラックホール・シャドウの撮影、はやぶさ2探査機による、小惑星リュウグウへのタッチダウン。宇宙探査が進歩を続ける中、天文学者が注目するのは“第二の地球”だった!

感想・レビュー：リンク URL < <https://bookmeter.com/books/14854905> >

<目次>

- 第1章 観測風景
- 第2章 遙かな宇宙
- 第3章 満天の星の思い出
- 第4章 太陽系の中に第二の地球はあるか？
- 第5章 苦難の日々での出会い
- 第6章 太陽系外惑星研究の現状
- 第7章 希望への挑戦
- 第8章 異形の系外惑星たち
- 第9章 発見、その夜
- 第10章 第二の地球発見がもたらすもの

著者略歴（「BOOK 著者紹介情報」より）

渡部/潤一

1960年福島県生まれ。東京大学大学院、東京大学東京天文台を経て、自然科学

研究機構国立天文台教授・副台長、総合研究大学院大学教授、国際天文学連合副会長。理学博士。国際天文学連合では、惑星定義委員として準惑星という新しいカテゴリーを誕生させ、冥王星をその座に据えた(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目次(「BOOK」データベースより)

- 第1章 観測風景
- 第2章 遙かな宇宙
- 第3章 満天の星の思い出
- 第4章 太陽系の中に第二の地球はあるか?
- 第5章 苦難の日々での出会い
- 第6章 太陽系外惑星研究の現状
- 第7章 希望への挑戦
- 第8章 異形の系外惑星たち
- 第9章 発見、その夜
- 第10章 第二の地球発見がもたらすもの



新説 宇宙生命学 日下部展彦(著), 田村元秀(監修)

相次ぐ系外惑星の発見が地球外生命研究に何をもたらすのか?
科学の発展と天文学の変遷を紐解く

古い時代において、宇宙には地上と異なる世界があるのではないかと考えられてきました。

宇宙がどういったものかを知る術がない時代から、私たち人類はそこに存在するかもしれない神々たち「異なる世界の住人」を思い描き、神々による世界のはじまりを想像し、人類たちは宇宙に対しての思いを巡らせてきました。

それでは、現代ではどうでしょうか? 近代から現代における天文学の発展により系外惑星を含む多くの発見がされ、天文学と宇宙に対する考え方が徐々に変わっていきました。

宇宙の新しいことがわかるにつれ、今後の地球外生命研究においても大きな期待がされております。

本書では「宇宙における生命」をテーマに地球外生命研究と天文学の変遷と未来をアストロバイオロジーを研究している専門家がわかりやすく解説します。

1980 円

著者について

著者: 日下部展彦(くさかべ・のぶひこ)

アストロバイオロジーセンター特任専門員(国立天文台 併任)。2005 年東京学芸大学教育学研究科修了。修士(教育学)。2008 年総合研究大学院大学物理科学研究科修了。博士(理学)。国立天文台特任研究員、東京大学研究員などを経て、2015 年より現職。専門は星・惑星形成、系外惑星、アストロバイオロジー、科学コミュニケーション。著書に『一家に一枚 宇宙図』(共著、科学技術広報財団, 2007, 2013, 2018)、『太陽系図』(共著、科学技術広報財団, 2014)、『宇宙図 宇宙が生まれてからあなたが生まれるまで』(共著、宝島社, 2018)などがある。

監修: 田村元秀(たむら・もとひで)

東京大学大学院教授、アストロバイオロジーセンター長(国立天文台 併任)。1988 年京都大学理学研究科博士課程修了。理学博士。米国国立光学天文台研究員、NASA ジェット推進研究所研究員、国立天文台助手、同准教授を経て、2013 年および 2015 年よりそれぞれ現職。専門は、系外惑星天文学、星・惑星形成、赤外線天文学。日本天文学会林忠四郎賞、東レ科学技術賞などを受賞。著書に『太陽系外惑星』(日本評論社、2015 年)、『第二の地球を探せ!』(光文社、2014 年)、『アストロバイオロジー』(共著、化学同人、2013 年)などがある。

【目次】

第 1 章 宇宙人像の変遷

人類が最初に想像した異世界の住人一神話

個性豊かな神々

日本における天文学の発展

宇宙コラム 子どもたちに、宇宙人を描いてもらったら etc. 第 2 章 地球

における生命の誕生

生命の定義と宇宙人

宇宙における生命の材料

生命の起源の謎。陸上温泉 vs 海底熱水

宇宙コラム 進化? 変態? 天文学での「進化」とは? etc.

第 3 章 地球外生命探査の飛躍的な発展

宇宙探査の幕開け

火星探査

系外惑星への挑戦

宇宙コラム Wow! シグナル etc.....

第4章 ハビタブルな系外惑星は存在するのか

系外惑星の発見

異形の惑星たち

ハビタブルゾーン

宇宙コラム ハビタブルゾーン? ゴルディロックスゾーン? etc.....

第5章 近未来の地球外生命探査

衛星の地下海:エウロパ・エンセラダス

超巨大望遠鏡時代

将来宇宙望遠鏡計画

宇宙コラム オウムアムア論争 etc.....

第6章 系外惑星における生命の可能性

地球とは似ても似つかない第2の地球

地球とは全くことなる生命の可能性は?

宇宙コラム 系外惑星の住人が考える宇宙人像 etc.....

第7章 宇宙生命学

宇宙の生命は地球と同じ? 違う?

宇宙人とコミュニケーションはどうするの?

宇宙コラム 宇宙で迷子になったら etc.....